

東口市有地利活用WS向け提案  
地域住民が必要とする複合公共施設

H28/11/24

地域福祉活動計画守谷地区実行委員長

亘理 達

# 要 点

守谷駅東口市有地利活用WSにおいては、施設の案を協議する中で、収益性の向上が焦点になっている。

一方、駅周辺と東側住宅地の住民の立場では、ここ10年で急激な転入増加の結果、子育て・高齢者福祉・地域活動の視点からは、既存の施設がきわめて不十分という実感ある。

以下の、住民ニーズを満たすための複合公共施設の提案と根拠を示す。

- ◆ 複合施設の床面積：1,270m<sup>2</sup>（1F：650m<sup>2</sup>、2F：620m<sup>2</sup>）
- ◆ 収容機能：児童センター・高齢者支援・地域活動支援
- ◆ 根拠：
  - ・ 子育て施設（親子ふれあいルーム）は、他と比べ子供（0-9歳）1人当たりの床面積が1/5以下
  - ・ 公共施設（中央公民館）の利用対象人口は、市北西部・市南東部と比較すると、2.2・5.4倍であり、新たな公共施設が必要。

ここで提案している施設は、対象となる12,792m<sup>2</sup>の敷地面積対比で、5.1%しか必要としないものであり、収益性確保の視点で障害となるポテンシャルは低いと考える。

なお、この提案はH28/11/24の地域福祉活動計画守谷地区実行委員会において、合意を得たものである。

# 複合公共施設の内容

種別	目的	面積
児童センター	乳児室	床面積1F=650m <sup>2</sup> 、2F=620m <sup>2</sup>  児童センター=636m <sup>2</sup> 高齢者支援=158m <sup>2</sup> 地域活動支援=163m <sup>2</sup> 玄関・エレベータ・倉庫=275m <sup>2</sup>
	幼児室	
	遊戯室	
	相談室	
	工作室	
	異世代交流室	
高齢者支援	機能訓練室	キ・ターレ1,045m <sup>2</sup> (ギャラリー除く)、 ミ・ナーデ1,089m <sup>2</sup> 、 市民活動センター373m <sup>2</sup> をベースに、スタジオ・視聴覚室・調理室 を削除。 高齢者支援・地域活動支援機能を加えた。
	多目的室	
	相談室	
	中会議室(20人規模/地域ケア会議)	
地域活動支援	大会議室(50人規模)	
	フリー会議室	
施設管理	事務室	
合計		1,270m <sup>2</sup> 建坪197(16mx40m)、2階建て

# 複合公共施設の場所



2016/11/24

30m

# 東口市有地への複合公共施設のニーズ

## 児童センター

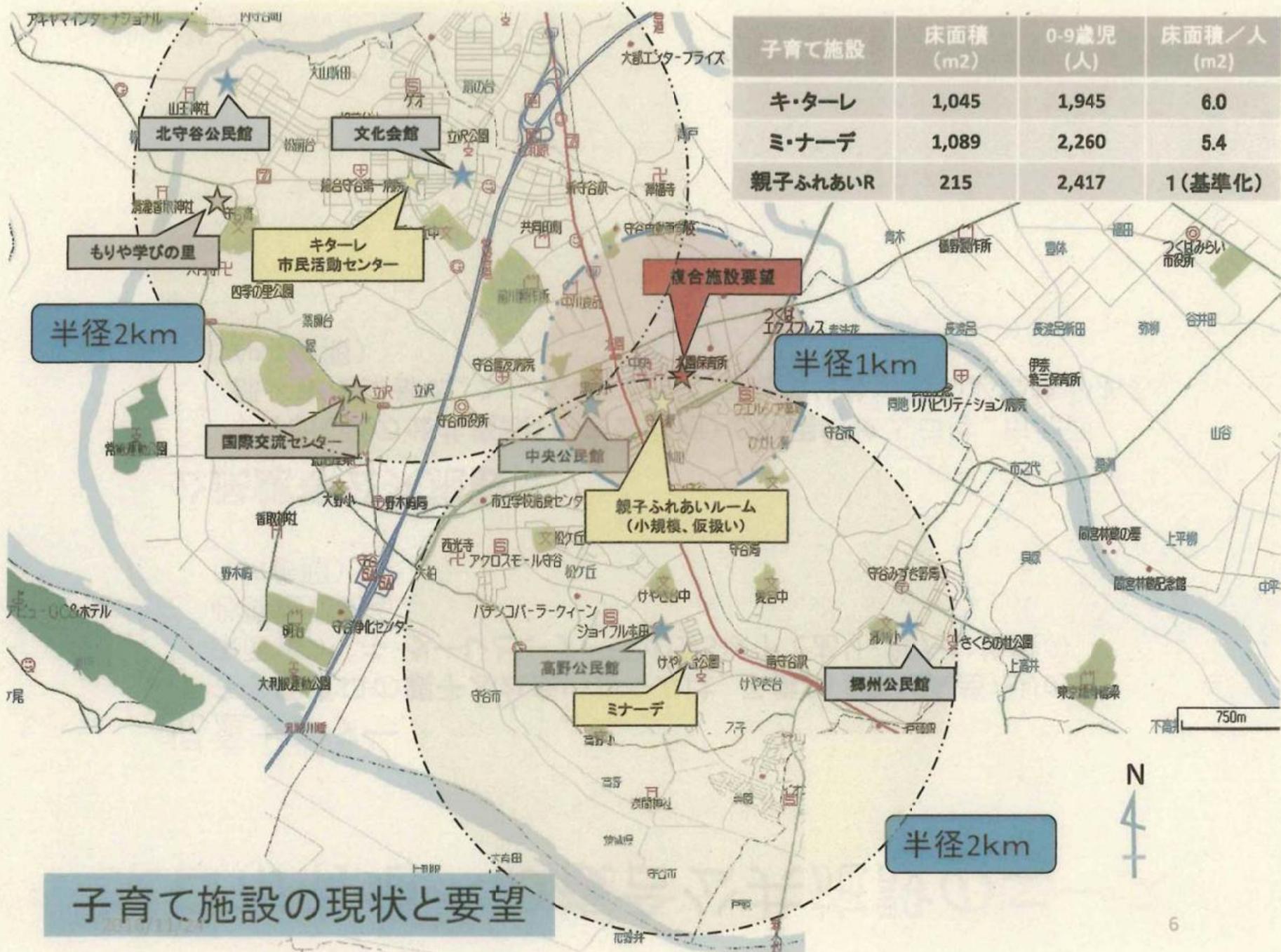
守谷駅東口の親子ふれあいルームは、子供(0-9歳)1人当たりの床面積が、キ・ターレとミ・ナーデの1/5以下であり、新たな施設の必要性がある。

(P-6参照)

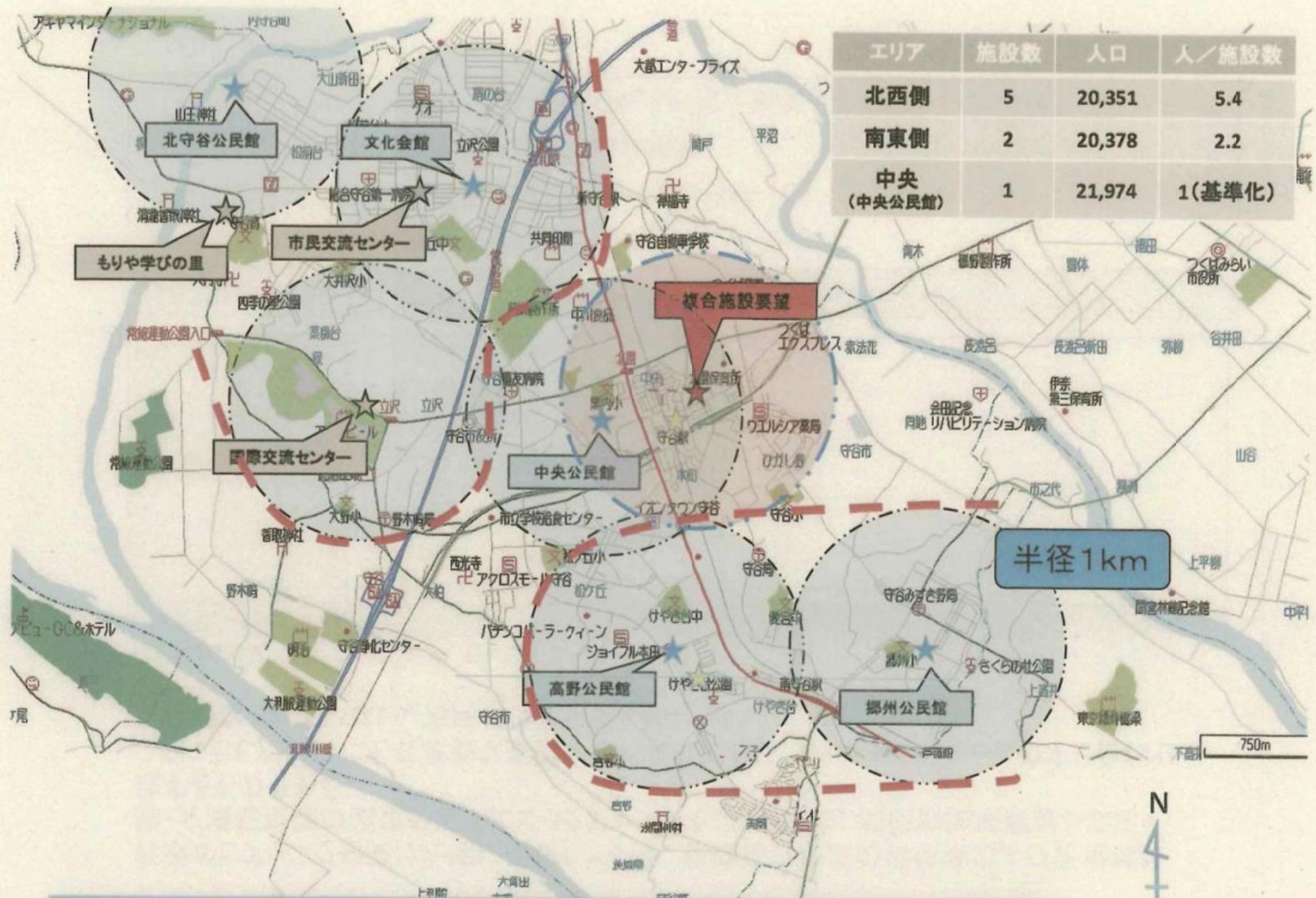
## 公民館等公共施設

守谷駅近くの公共施設(中央公民館)の利用対象人口は、市北西部／市南東部の、2.2・5.4倍であり、新たな公共施設の必要性がある。

(P-7参照)



子育て施設の現状と要望



公民館等公共施設(児童センターを除く)の現状と要望

# H27年度コンサル報告から抜粋

行政がヒアリングを受けた際に回答している、保健福祉施設の具体案および児童福祉課・介護福祉課の要望を以下にピックアップする。いずれも、前述の地域要望とほぼ一致するものである。

ここに示した以外にも有意義な要望が挙げられており、WSの中でこれらとのすり合わせ議論がなされていない。方向付けを見直し願いたい。

## [主な提案 (ブレインストーミング)]

主な機能	概要
保健福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健福祉部機能移転 (保健センターを含む)</li> <li>・産後ケア施設</li> <li>・看護師、保育士等専門学校</li> <li>・昔遊びの伝承</li> <li>・障がい児の芸術の場</li> <li>・子どもの遊び場機能</li> <li>・高齢者サロン</li> <li>・児童宿泊体験施設</li> </ul>

関係各課	児童福祉課
公共施設 整備要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土塔中央保育所の移転</li> <li>○守谷駅前親子ふれあいルームの移転</li> <li>○送迎保育ステーション拠点施設</li> <li>○医療・療育・子育て支援拠点の複合施設 (主に障がい児が利用できる施設)</li> </ul>

関係各課	介護福祉課
計画地に整備する必然性	<p>守谷市の北側には、キターレ、文化会館、北守谷公民館が配置されている。南側にはミナーデ、高野公民館、本町には保健センターがあるが、国道 294 号線の東側には公共施設は、少ない。(整備されていない)</p> <p><b>【都市の顔になる】</b></p> <p>守谷駅に近く交通の便がよいことは、市民、親族にとって大変有効である。守谷市に高齢の両親がいて、他市から親族が相談に来庁するケースも少なくない、公共機関を利用しやすいことは、大変有効である。</p> <p>今後は、様々な個別事情に柔軟に対応できることが自治体の価値になる。福祉部門を集約して、迅速に、各分野が連携して対応するために、施設整備することは、大変有効性があると言える。</p> <p>よって、東口市街地に公共施設を整備することは、市有地の利用にはもつとも有効なものと思う。</p>